

ちくし ただなか
筑紫平野の直中の海超え来たる朝の風

ゆうべ くも
夕辺は薫る天山の山並み指して雲帰る

令和三年七月十五日

大中臣正比呂



ぼたん
シャクヤク牡丹かきつばた

ゆかた みずおおぎ
あやめ浴衣に水団扇、ああ夏だ！